

## 地区活動だより

### 相生地区

相生地区青少年育成推進会議では、舞鶴小学校の子どもたちと地域の方々と一緒に事業を無料で行っています。その中で子どもたちが一番楽しみにしている事業は、夏に開催している『サマーフェスティバル大会』です。コロナ禍では開催を控えていましたが、子どもたちから「また、やりたいから開催してほしい。」という声が多く寄せられ、昨年度より再開しました。参加者は100名を越えた参加となりました。サマーフェスティバルの内容としては、手作りのプールにマスを入れて幼児・小学生・中学生・高校生・大人とグループ分けをして、2分間でマスを手づかみで何匹取れたかを競い合います。そして、競技終了後には、取ったマスをムニエルにして食べます。家では食べない子どもが初めて「おいしい」と言って食べている様子に、親御さんもびっくりしていました。「おいしいからもう一匹食べていい？」という子どもたちもいました。子どもたちのそうした笑顔が見られる事業は、これからも継続できるよう努力していきたいと思えます。その他の事業では、2月にウォーキング(以前は万才橋まで歩いていた)を行っています。15年ほど前からは見学や体験と一緒にを行うようにし、近々の見学では消防署、県庁、中銀資料館、善光寺、武田神社など、体験としてジュエリーミュージアムでペンダント作りを行った時には80名の参加がありました。ウォーキング後は大好評の『相生特製肉うどん』を皆でいただきます。今後も子どもたちと触れ合い楽しい事業を行えるよう、役員の皆さんと考えていきたいと思えます。



(会長・塩澤主税 総務・渡辺保幸)

### 新紺屋地区

新紺屋青少年育成協議会では、季節に合った活動をしてきました。8月5日の夏休みに新紺屋小学校の体育館で親子工作教室の実施、校庭で新紺屋地区ふれあい夏祭りを地区各種団体と共に行い、大勢の子供がポテトフライ、かき氷、綿菓子、焼きそば、ヨーヨーなどで、夏休みの一日を楽しく過ごしました。早起きラジオ体操会には、190名の参加があり、参加賞を渡しました。子どもの元気な顔が見られました。



11月11日には、新紺屋小学校の創立150周年記念を迎え、学校と協力して体育館で山梨交響楽団記念演奏会を行いました。大変すばらしい演奏に参加者全員が聞き入りました。

11月23日には、環境美化活動が終わった後に焼き芋会と消防活動見学会を実施しました。八幡神社に集まり、落ち葉を利用して焼き芋を作りました。上々の出来栄に、大変好評でした。また、地区の消防団の皆様に消火活動の実演をお願いしました。普段あまり見る機会のない子どもたちにとって、とても興味深く、貴重な体験になったのではないかと思います。

年末には、親子餅つき大会と歳末助け合い募金活動を行いました。10kgのもち米でつくったたくさんのつきたての餅を皆さんに食してもらいました。おいしいつきたての餅をほおばり、笑顔がいっぱいでした。家庭での餅つき経験のない今の子どもたちは、興味津々でとても楽しそうでした。

各種事業を実施し、人と人との交流、触れ合いの大切さを改めて実感しました。これからの地域の為にも、このような各種事業に多くの地域住民の参加があり、同時に各種組織・団体の後継者が増えることを願うばかりです。

(新紺屋地区総務部会)